

インターネット銀行の動向

大和田 智美 ●株式会社ストック・リサーチ 取締役

口座数、預金残高の伸び率は横ばいになり、成長は停滞期に ケータイからの利用をメインターゲットとした「じぶん銀行」が新規参入

ネット專業銀行の預金残高は半期ベースでは減少

新規参入を除くイーバンク銀行、ジャパンネット銀行、ソニー銀行のネット專業銀行3行の口座数合計は、2009年3月末で586万口座と、前年度より80万口座程度増加した。預金残高は1600億円増の2兆5000億円となった。ただし、増加率を見てみると、前年度と比較して口座数が24%増から15.6%増へ、預金残高は50.8%増から7.1%増へと大幅に縮小している。

それぞれについて見ていくと、2009年3月末の口座数は、イーバンク銀行が前年度より18.5%増の315万口座、ジャパンネット銀行が9.5%増の199万口座、ソニー銀行が18.6%増の72万口座で、伸び率は3社とも減少した。預金残高は、ソニー銀行が15.9%増の1兆3263億円、イーバンクは3.3%減の7350億円、ジャパンネットが2.9%増の4349億円となり、伸び率は前年の40～60%増と比較して各銀行とも大幅に減少しており、さらに、半期ベースでみると預金残高は3行とも減少した(資料1-4-6)。

ネット專業銀行の預金残高が、年ベースでは伸び率が鈍化、半期ベースでは減少となった理由として、ネット專業銀行と、都市銀行などの既存銀行との金利差が考えられる。3年ほど前よりネット專業銀行の金利は都市銀行のほぼ2倍で推移していたが、普通預金に限っていえばほぼ同水準まで差は縮小、もしくは逆転しており、ネット專業銀行の資産運用先としての魅力は低下しつつある。ネット專業銀行が高金利だった時代に預けた3年、5年定期が満期を迎えれば、多数の預金者が預け先を替えても不思議はない。新たな預け先として候補にあがるのが、新規参入のネット銀行だ。ちょうどこの1年は住信SBIネット銀行や、開業間もないじぶん銀行などが高金利の定期を募集していた時期でもある。この新規参入2行の預金残高を加えれば、この半期のマイナス分を補い、ややプラスに転じている。口座数の伸び率も、新規参入の2行を加えた7行では前年度の27.1%増から30.4%増と拡大している。特にじぶん銀行の伸びが著しく、2008年9月末の時点では住信SBIネットの7割程度の18万口座だったが、2009年3月末では逆転し50万口座近くまで伸ばしている。

しかし、ネット專業全体7行ベースでも年間の伸び率は口座数で横ばい、預金残高は減少しており、拡大期は過ぎたと言ってよいだろう。

2007年に続き2008年にも ネット專業銀行が登場

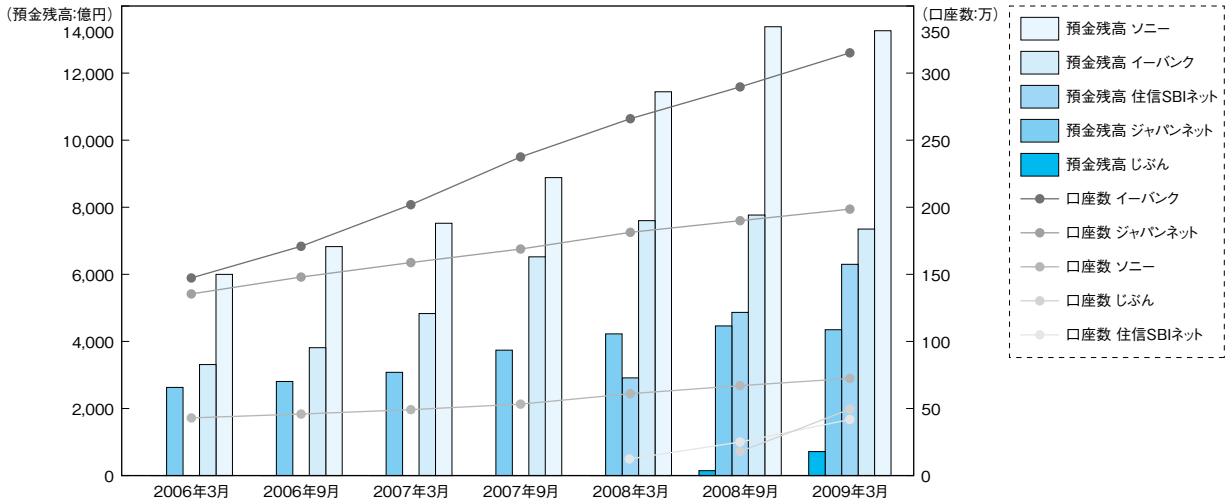
2007年9月の住信SBIネット銀行に続き、2008年7月にもネット專業銀行のじぶん銀行が登場した。じぶん銀行は三菱東京UFJ銀行とKDDIが共同で設立した銀行であり、これまでのネット專業銀行とは異なり、主にケータイでの利用を前提とした銀行である。もちろん、パソコンでも利用できるため、使い勝手そのものは他のネット專業銀行のサービスと変わらない。ただし、KDDIが出資していることから、auにはプラスアルファのサービスがある。例えば、スピード口座開設、ケータイの番号による振り込み、ケータイ上の通帳などだ。また、三菱東京UFJが出資していることから、同行への振り込みは手数料が無料だ。

ただし、じぶん銀行の品揃えは、預金(2009年中の外貨の取り扱い予定あり)、カードローン、自動車保険であり、他のネット專業と比べて少ない。また、同行はフルバンキング指向ではなく、あくまでもケータイの利用を前提としている銀行であるため、おそらく今後も大幅に商品が増えることはないだろう。1口座当たりの平均預金額(約15万円)からも、小口決済の用途が中心であると推測される。

じぶん銀行は、開業5年で340万口座、1兆5000億円を目指すということだが、資産運用型のソニー銀行でも預金残高が1兆円に達するまで6年半はかかっている。また、口座数は決済機能を中心に提供しているジャパンネットやイーバンクが多く獲得しているが、それでも現時点でそれぞれ200万、300万口座である。住信SBIネットは開業1年半で40万口座、預金残高6000億円超と、ハイペースで口座と預金額を伸ばしており、じぶん銀行の目標となるだろう。しかし住信SBIネットは資産運用を中心とするフルバンキング型であり、また預金残高の高さはグループ会社のネット証券との連携によるところが大きいものと思われる。じぶん銀行とはビジネスモデルが大きく異なる。口

■ 既存ネット専門銀行の口座数は586万口座、伸びは鈍化

資料1-4-6 ネット専門銀行の口座数と預金残高



出所 各行発表資料より筆者作成

■ 都市銀行とネット専門銀行の金利差はやや縮小、専門が低いケースも

資料1-4-7 主なインターネット銀行のサービス(ネット専門銀行・都市銀行・その他)

2009年5月1日現在

タ 銀 行 の 種 別	銀行名	商品 ^{※1}				手数料		金利		利用できるATM	セキュリティ対策/ネット上の不正利用に係る補償制度
		外貨預金	投資信託	FX	住宅ローン ^{※2}	ATM 時間外引出	ネット振込3万円以上他支店宛/他行宛	普通預金(1円以上)	定期預金(1年、100万円)		
都市銀行などのネット銀行	みずほ銀行	○	○	×	×	105円 ^{※3}	210円/420円 ^{※4}	0.04%	0.2%	MICS 提携のATM	乱数表、ワンタイムパスワードなど/補償制度:50万円または100万円まで
	三井住友銀行	○	○	×	○	105円 ^{※3}	105円/420円 ^{※4}	0.04%	0.2%	MICS 提携のATM	乱数表、ワンタイムパスワードなど
	三菱東京UFJ銀行	○	○	×	○	105円 ^{※3}	無料/315円	0.04%	0.25%	MICS 提携のATM	乱数表など
	りそな銀行	○	○	×	×	無料	無料/100円	0.04%	0.25%	MICS 提携のATM	乱数表、ワンタイムパスワード、ソフトウェアキーボードなど/補償制度:300万円まで
	あおぞら銀行	×	×	×	×	105円	無料/150円	0.1%	0.95% ^{※5}	都市銀行/信託銀行/ゆうちょ 他	乱数表、ソフトウェアキーボードなど
	新生銀行	○	○	×	×	無料	無料/100~300円(月1回無料) ^{※6}	0.01%	0.3% ^{※7}	都市銀行/信託銀行/セブン/ゆうちょ 他	乱数表、セキュリティキーボードなど
ネット専門銀行	イーバンク銀行	○	○	○	×	210円または262円 ^{※8}	無料/250円	0.05%	0.44%	セブン/ゆうちょ	ワンタイム認証、取引通知、セキュリティキーボードなど/補償制度:300万円または1000万円まで
	ジャパンネット銀行	×	○	○	×	157~367円(月1回無料) ^{※9}	52円/262円	0.06%	0.53%	三井住友/セブン/ampm/E-net/ゆうちょ	乱数表、ワンタイムパスワードなど/補償制度:300万円または500万円まで
	じぶん銀行	×	×	×	×	無料 ^{※10}	無料/270円	0.05%	0.8%	三菱東京UFJ/セブン/ゆうちょ	乱数表、パソコンロックなど
	住信SBIネット銀行	○	×	○	○	無料 ^{※11}	無料※12	0.1%	0.547%	セブン/ローソン/E-net/ゆうちょ	乱数表、モバイルキー認証、各種取引制限設定
	ソニー銀行	○	○	○	○	無料 ^{※13}	無料/210円	0.02%	0.522%	三井住友/三菱東京UFJ/セブン/ampm/ローソン/ゆうちょ	パソコンの登録、ソフトウェアキーボードなど

※1 商品:インターネットで取引申込可能な商品 ※2 住宅ローン:ネット、郵送、電話で申込が可能な場合に○ ※3 みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行のATM手数料:優遇サービスへの加入により条件付で無料 ※4 みずほ銀行、三井住友銀行の振込手数料:優遇サービスへの加入により条件付で無料または割引 ※5 あおぞら銀行の定期預金金利:あおぞらダイレクト定期の金利 ※6 新生銀行の振込手数料:取引条件により最大月10回まで無料 ※7 新生銀行の定期預金金利:30万円以上100万円未満の金利 ※8 イーバンク銀行のATM手数料:セブン銀行ATM210円、ゆうちょ銀行ATM262円、預入残高により月0~7回無料(8月1日からの手数料) ※9 ジャパンネット銀行のATM手数料:預入残高等取引条件により月1~6回無料 ※10 じぶん銀行のATM手数料:ゆうちょ銀行ATMは月1回、その他ATMは月3回無料 ※11 住信SBIネット銀行のATM手数料:ATMにより回数制限付で無料(月5回) ※12 住信SBIネット銀行の振込手数料:他行宛は回数制限付で無料(月3回) ※13 ソニー銀行のATM手数料:セブン銀行ATMは回数制限なし、他のATMは月4回無料

出所 各行ホームページをもとに筆者作成

座数については現在の増加ペースを保つことができれば目標の達成も不可能ではないが、決済中心型のままでは預金額の達成は難しいだろう。

ネットバンキングサービスの現状と今後

2008年~2009年のネット専門、既存銀行のネットバンキングサービスを見てみると、ジャパンネットが2008年7

月から投信を、住信SBIネットが2008年8月にFXの取り扱いを開始するなど、一部の銀行で品揃えの拡充が図られた。また既存行ではあおぞら銀行が2009年4月よりネットバンキングサービスを開始した。定期預金の金利が高く、他行宛の振込手数料が150円と安い、品揃えは預金のみで、無料で利用できるATMは少ないなどまだまだサービス拡充の余地は大きい。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp